

景

ベルトランに捧ぐ

グレーのコンクリート水路が折れ線のように
ずっと続いている
その底を静かに流れている水
その中に一羽の白いサギが居る

その水路の脇にアスファルトの道が続いていて
上っていて
あたかも空の果てのほうへと続いていて
視線は自然に雲へと吸い寄せられる

その道の脇には、ずっと
カラフルに塗られた家々が続いていて
その屋根屋根は
まるで波の連なりのようだ

それらの家々の中には部屋があるのだろう
出窓に置物が飾られ
家具調度品が並べられた
いくつもの部屋があるのだろう

その中に明滅するものがある
スクリーン

それを血走った目で見つめる者が居る

カチ、カチという音が響いている

雲がゆったりと流れている
夕暮に向けて

(2009.2.18)